

子どもは一冊の本

杜明月間によせて

齋藤 大馨

お茶の水女子大学教養部講師の杜明月間によれば何かを書き出すのは「母と子の時」である。「母と子の時」は、母の作品をばらばらと集めて「母と子の時」の世界に共通した親の愛情である。そして「母と子の時」の本である。「母と子の時」の本は、母の愛情を込めて書かれたものである。母の愛情を込めて書かれたものである。母の愛情を込めて書かれたものである。

大切なものを読むとどうなるか。母親は本能でそのようにセンスに恵まれているはずだ。そしてフランスの老生理想者A・トリスのごときを引いて「親と子がいっしょに明日に向けて助けあおう」と生きようという「意味」を説明している。この「意味」は「親と子」の深い愛情を意味する。母でも将棋で読みが浅いとが深いとか、とくべられる。読みが浅いと受けざるを得ない。

子どもは一冊の本でも、生きた本である。だから読み方も、生きた読み方であり、深い読み方とはいえない。深い読み方は、親子と向きあうとき、何よりの誇りとして、細かく「書き込み」は適切な教育やしつけもできる。

古来、読書について行間読視と紙背に徹する透視が必要だとされている。子供という書籍にあっては、行間の透視は心の熱であり、紙背に徹する透視は絶対の信頼である。

この一冊の本を正しく読破してしまえば、書き込んだ人に故小泉信三氏がある。太平洋戦争の頃は、信三氏にあり、出征する令息信吉君に送った手紙に「君の出征に臨んでいって、母々面紙は完全な君に満足し、君を我子とするとき、何よりの誇りとして、細かく「書き込み」は適切な教育やしつけもできる。

社会教育夜話

——家庭教育のこと——

都心の中学教師の間には「三割切捨て」というコトバがある。勉強のペースがわるい三割の生徒は切ってしまうが、残りの七割は勉強する。勉強する生徒は切ってしまうが、残りの七割は勉強する。勉強する生徒は切ってしまうが、残りの七割は勉強する。

これらは、七月二十一日に開かれた新島県民会館で開かれた「社会教育の現状」に関する講演会での話である。講演者は、現代の教育の問題をいろいろと語った。講演者は、現代の教育の問題をいろいろと語った。講演者は、現代の教育の問題をいろいろと語った。

私たちの村

人口	8,015
男	3,961
女	4,054
世帯数	1,713

7月1日現在

第八回参議院議員選挙

投票率前回は上廻る

「タナバタ選挙」の啓発もよく物価問題、安保問題が焦点となつて次第に盛り上りをみせた第八回参議院議員選挙は、去る七月七日執行されたが全国的に投票率は伸び、わが中里村においても当日は天候に恵まれ、村内十二の投票所にも出席者がよく、投票率は地方区において八十六・六パーセントで、前回(昭四二・七・四日執行)の八十四・〇二パーセントを上廻った。さらに投票率を男女別にみると男八十七・七パーセント、女八十五・七パーセントと女性はやや低くなつてゐるが前回(昭三十七・七・一日執行)にくらべると一パーセント近くも伸びており、婦人の政治意識が前より高まったことを示している。以下中里村における投票の状況および候補者の得票の状況は次のとおりである。

◎全国区

有効投票	四〇七七
無効投票	三六三
得票数十位まで	
小林 國司	五五二・五七九
和田 幹夫	四五一
上林繁次郎	四四八

◎地方区

選挙当日の有権者数	二、四一六二、七〇八五、一二四
投票者数	一一九二、三二二四、四四一
投票率	八七・七二、八五・七五八六・六七

◎全国区

投票者数	一一九二、三二二四、四四〇
投票率	八七・七二、八五・七五八六・六七

成人式開く

参加者九十一名

はたらの希望を胸に、はいにふくらませた青年たち九十一名が参加して、去る七月十日午前十時より中里村校場運動場で成人式を挙行しました。

公民館では、出稼ぎや春の農繁期の関係から、三十九年以来夏の成人式を行なっていますが、軽装で参加できるなど好評のうちに「生きる」と題する講演を

私はこれを読んでなるほど深く感激させられた。わが子を一冊の本として、読書百遍の労を惜しまなかつたら、時代感のズレも解消しよう。

青少年の不良化の原因には内的ものとしてのものとしての二つがある。即ち社会的環境と家庭的なシシケの問題につき、社会全体の力で、環境を浄化し、両親は自信を喪失し学校に於けるのみ依存する風習より脱皮せねばならない。昨今比較的めくまれた家庭に問題点が多いことは、問題の核心を衝いていけるように思われる。青少年の不良化防止には種々方法はあるが、しかし最終的にはやはり何と云っても家庭のシシケにあることを再確認し、家庭内に於ける情操教育の重要性を

人生住来

子の名	父の名	部落
樋口 正三	正三	干海
樋口 健治	正次	小原
上村 一天	幸男	干海
上原 善吉	善代一	通り山
江口 隆子	忠昭	上山
広田 直之	紀一	小原
樋口 登子	重利	小原
樋口 木實	三郎	小原
村山 ゆかり	桂	口沢

田沢小中学校プール

いよいよ着工

子どもたち待望の水泳プール。このほどようやく着工のはじめとなった。

田沢小中学校の水泳プール建設については、村では、はじめに、建設計画については慎重な検討がなされてきたが、指名業者を厳選し、去る七月十日投票場において競争入札がおこな



写真は7月10日におこなわれた成人式の1コマ

われた。その結果は、新島市の株式会社福田組が落札、たまたに請負に付された。

子どもたちをいよいよ水難事故から守り、暑い夏を健康に過ごせたいと、地域の親たちがらもプールの完成が待たれている。なお、建設位置は、田沢中学校体育館の南側で、構造規模は、二十五メートル×十三メートルの主プールに、十メートル七メートル半の補助プールがつくられ、浄化槽が完備される。

農薬の使用に注意

今年も農薬を使用する時期になりました。農薬による事故は毎年発生しております。なれるに従って取り扱いがとくく安易になりがちですが、軽い中毒症状でも繰り返すことにより大変な危険があります。危害防止にはいろいろの注意事項がありますが左記のことをぜひ実行して下さい。

◎皮膚に直接付着しないようた手袋など使用のこと。

◎風向きを考慮して風上から散布し、散布時には吸い込まないようにする。

◎特に使用後の容器は責任者が完全に処理すること。

◎めまぐるしく雨が降ったり、気温が少しでも低くなったので、農薬の貯蔵をいっしょに。

